

# 都市再生整備計画(第5回変更)

ひめじしとしんちく  
姫路市都心地区

ひょうごけん ひめじし  
兵庫県 姫路市

平成23年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	姫路市	地区名	姫路市都心地区	面積	450 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

### 目標

- 大目標:歴史を育み、賑わいと感動あふれる都心の再生  
 目標1:世界文化遺産姫路城など歴史的資源を活かしたまちづくり  
 目標2:感動と楽しさあふれる回遊性の高い都心の形成  
 目標3:播磨の中核都市として、人・もの・情報が活発に交流する、魅力と活力ある都心の形成

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- まちづくりの経緯
  - ・世界文化遺産姫路城を擁する姫路市の都心部は、本市を代表する都市イメージを形成・発信するとともに、古来より播磨の商業・業務・交通の中心としての役割を果たしてきた。また、市民にとっては、買物や飲食はもとより文化や芸術などに触れ、出会いや楽しみの場となっている。しかし近年、都心部を取り巻く環境や市民意識の変化などにより、今日まで果たしてきた役割に陰りが見られるようになってきた。
  - ・姫路城を中心とする地区は、市民の誇りとアイデンティティとして世界文化遺産姫路城の保全と継承とともに、歴史的・文化的資源を活用したホスピタリティあふれる国際的なまちづくりが求められている。
  - ・大手前通りを中心とする地区は、かつては城下町として栄え、また、姫路市の商業・業務の中心的役割を果たしてきたが、現下の社会経済情勢の変化を踏まえ、都心回遊の拡大や都心居住の促進などにより賑わいのある都心への再生が求められている。
  - ・姫路駅を中心とする地区は、鉄道高架事業を契機とした総合的・一体的な都市基盤整備とともに、今後、キャスト21計画の推進など新たな都市機能の導入により姫路の未来を担う創造空間として大きな期待が寄せられている。

#### ●市の都市計画等

- ・「姫路市総合計画」において、姫路駅を囲む中心市街地を都市構造上の主核(商業・業務核)として、都心部にふさわしい高度な土地利用を促進するとともに、姫路城周辺や大手前通りを緑豊かな潤いある交流拠点として整備を図ることとしている。現在、「JR山陽本線等連続立体交差事業」、「姫路駅周辺土地区画整理事業」、「関連道路事業」等により面的・総合的な都市基盤整備を進めており、今後においても、都市拠点施設の導入を図る「キャスト21」等の事業を推進し、21世紀の播磨の発展の核となる魅力と活力のある都心の形成を図ることとしている。
- ・現在、平成20年度の鉄道高架完成後を見据えたまちづくりの目標、基本方針、重点事業等を明らかにする「姫路市都心部まちづくり構想」の策定作業を進めており、平成30年度を目標としたまちづくり事業を重点的に推進していく。
- ・本地区に関連して、「姫路市中心市街地活性化基本計画(平成11年)」、地域再生計画として「世界文化遺産姫路城等歴史・文化的資源を活用した国際観光都市づくり(平成16年)」及び「賑わいと活気あふれる中心市街地再生計画(平成17年)」が策定されている。また、平成17年度全国都市再生モデル調査として「姫路市都心地区における都市環境改善に向けた歩行者専用・優先ゾーン形成調査」を実施中である。

#### 課題

- ・都心部全体として、市民が安心して快適に暮らせ、また、訪れる人々を温かく迎えるため、交通施設や建築物のバリアフリー化、緑化の推進、公共交通・自転車の利用促進など人と環境にやさしいまちづくりを進めること。
- ・姫路城周辺では、世界に誇る遺産の保全と継承、既存文化施設等の充実と活用、城の景観保全と歴史的な雰囲気づくりなど、城下町・姫路のイメージや都市の魅力为国の内外に発信すること。
- ・大手前通り周辺では、既存の商業・業務機能に加え、特色ある商業街区の形成、多彩な集客イベントの開催、城と調和した景観形成など、城下町・姫路の再生と都心回遊の場づくりを進めること。
- ・姫路駅周辺では、21世紀に大きく躍進する魅力と活力ある都心の創出へ向けて、鉄道高架事業、土地区画整理事業等の都市基盤整備を重点的に推進するとともに、駅前広場と高架下空間を活用した交通結節機能の拡充や、播磨の中核都市の玄関口として魅力ある都市景観の形成を図ること。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 歴史を育み、賑わいと感動あふれる都心の再生を目指す。  
 ・姫路城をはじめ培ってきた歴史的資源の保全と活用に努め、市民の力で新たな歴史や物語を創造し続けるとともに、都心部の個性と魅力を創出し、人・もの・情報が行き交い活力と賑わいにあふれ、市民はもとより訪れる人々が、さまざまな出会いや体験を通して感動が享受できる元氣な都心の再生を目指す。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 年間観光入込客数	人/年	都心部の主要観光施設(姫路城周辺、手柄山周辺)、まつり・イベントへの年間入込客数	既存文化施設の活用、情報発信や、多彩なイベント等の開催により、観光入込客数の5%増を目指す。	4,618,000	平成16年度	4,849,000	平成22年度
2. 中心商店街歩行者通行量	人	中心商店街における休日(10時~18時)の歩行者通行量で、22箇所の観測値の合計	商店街における集客力や人の流れ、都心部の回遊性の高まりを示す指標として5%増を目指す。	242,000	平成17年度	254,000	平成22年度
3. 鉄道乗車人数減少率の改善	%/年	JR姫路駅及び山陽電車姫路駅の年間乗車人数の減少率(過去5年間平均)	漸減傾向にある年間乗車人数を、都心部の魅力や交通便利性の向上により減少率を半減させる。	△2.2	平成15年度	△1.1	平成22年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(世界文化遺産姫路城など歴史的資源を活かしたまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界文化遺産姫路城の保全と継承に力を注ぐとともに、城と調和した景観の形成を図る。</li> <li>姫路城の周辺は、文化のシンボルゾーンとして既存文化施設の充実と活用を図り、より魅力的で親しめる空間とするための整備を推進する。</li> <li>姫路城に象徴される歴史的・文化的資源を活用し、都心の魅力をさらに高め、ホスピタリティあふれる国際観光都市を目指す。</li> </ul>	<p>■公園(基幹事業／姫路公園(大手前公園)改修事業)、■既存建造物活用事業(基幹事業／手柄山地域交流センター整備事業)</p> <p>□地域創造支援事業(提案事業／手柄山モノレール公開事業)、□まちづくり活動推進事業(提案事業／姫路城周辺の町家等保存・活用支援事業、中心市街地活性化のための情報収集事業、姫路地域力創出事業)</p>
<p>整備方針2(感動と楽しさあふれる回遊性の高いまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の商業・業務機能に加え、魅力ある商業・業務街区の形成、また多彩なイベントの開催などにより楽しく賑わいのある都心を目指す。</li> <li>城下町・姫路のイメージの再現や姫路城へのプロムナードとしての役割を強化し、市民はもとより来街者の都心回遊の拡大を図る。</li> <li>歩きやすい歩道の整備や緑化の推進などの基盤整備、互いに助け合い地域が一体となったコミュニティづくりを進め、住みやすく快適な居住環境の整備に努める。なお、姫路公園(大手前公園)については、災害時の大規模避難場所として位置づける。</li> </ul>	<p>■道路(基幹事業／市道手柄78号線歩道整備事業)、■公園(基幹事業／姫路公園(大手前公園)改修事業)、■高質空間形成施設(基幹事業／山陽電鉄(姫路駅付近)側道整備事業、自転車利用環境整備事業)、■既存建造物活用事業(基幹事業／手柄山地域交流センター整備事業)、■土地区画整理事業(基幹事業／駅南土地区画整理事業(姫路駅南西地区))</p> <p>□地域創造支援事業(提案事業／大手前通り高質空間形成調査、手柄山モノレール公開事業)、□まちづくり活動推進事業(提案事業／中心市街地活性化のための情報収集事業)</p> <p>○連続立体交差事業(関連事業／JR山陽本線等連続立体交差事業)、○土地区画整理事業(関連事業／姫路駅周辺土地区画整理事業、○道路(関連事業／内々環状西線整備事業)</p>
<p>整備方針3(播磨の中核都市として、人・もの・情報が活発に交流する、魅力と活力あるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道高架事業や姫路駅周辺土地区画整理事業とあわせ、キャストィ21計画の推進により高次都市機能を集積し、播磨の中核都市として、21世紀に大きく躍進する魅力と活力あふれる都心の創出をめざす。</li> </ul>	<p>■土地区画整理事業(基幹事業／駅南土地区画整理事業(姫路駅南西地区))</p> <p>○連続立体交差事業(関連事業／JR山陽本線等連続立体交差事業)、○土地区画整理事業(関連事業／姫路駅周辺土地区画整理事業)、○道路(関連事業／内々環状西線整備事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の商業等の活性化とまちづくりを推進する機関として、姫路市中心市街地活性化基本計画(平成11年6月18日提出)に基づき、姫路商工会議所がTMOとなり、各種企画調整やソフト面等を中心に事業を行っており、その事業を支援している。</li> <li>大手前通り及びその沿道の美化、賑わいづくりに関しては、大手前通り街づくり協議会(平成9年2月設立)をはじめ関係諸団体の活動を支援していく。</li> <li>官民一体型の団体である姫路コンベンションビューロー(平成16年4月設立)を通じて、本市及び播磨地域の優位性を生かし、各種大会、会議、展示会、見本市等を誘致、開催支援等に取り組み、地域の活性化と文化の向上を目指す。</li> </ul> </li> <li>○街並み形成の誘導を図るための方策について <ul style="list-style-type: none"> <li>姫路城周辺地区及び大手前通り周辺地区の景観形成については、姫路市都市景観条例、姫路市屋外広告物条例、姫路城周辺地区景観ガイドプラン等の運用により、城の景観や歴史的町並みの保全、歴史的環境と調和した良好な景観形成に努める。</li> <li>姫路駅周辺地区については、姫路駅周辺土地区画整理事業等の基盤整備を推進するとともに、あわせて目標とする土地利用誘導と良好な景観形成を実現するため、各種規制・誘導方策の活用にも努める。</li> </ul> </li> <li>○交付期間中の計画の管理について <ul style="list-style-type: none"> <li>交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、市役所とNPO、地域のボランティア団体、地域の自治会が協働して、毎年、事業成果についての評価や事業の進め方の改善について検証する。その結果については、随時市民に情報公開する。</li> </ul> </li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

姫路市都心地区(兵庫県姫路市)

面積	450 ha	区域	姫路市本町の全部、駅前町の全部、白銀町の全部、南畝町の全部、西延末の一部 他
----	--------	----	--

